

令和6年度第3回蓮田市児童福祉審議会会議録

開催日時	令和6年11月22日(金)			
	午後2時00分 開会		午後3時00分 閉会	
開催場所	蓮田市役所 301会議室			
委員出席状況	氏名	出欠	氏名	出欠
	野口庸子 会長	○	渡邊陽子 副会長	○
	榎本菜保 委員	○	猪野塚将 委員	○
	吉澤博子 委員	○	山田正恵 委員	○
	田中悦子 委員	○	松本博子 委員	○
	折原弘美 委員	○	里山めぐみ 委員	×
事務局出席者	生涯学習部長 小宮雪晴 生涯学習部次長兼子ども支援課長 馬場邦明 子ども支援課 副主幹 水沼哲也 主査 新井宏典			
傍聴者	なし			
会議事項	議事 (1) こども計画(案)について (2) 基本理念の再検討 (3) その他			
会議資料	①資料1 蓮田市児童福祉審議会委員名簿 ②資料2 素案一案 主な変更箇所 ③資料3 こども計画関連法規(令和6年10月時点) ④資料4 蓮田市児童福祉審議会条例 ⑤資料5 基本理念 修正案 ⑥資料6 蓮田市こども計画(案) ⑦当日配付資料 蓮田市子育てガイドブック2024			
会議経過(議事の要旨)				
1 開会 本日の審議会については、委員10人中9人が出席していることから、会議が成立する旨の確認を行う。				
2 あいさつ 野口会長 小宮生涯学習部長				
3 議事 (1) こども計画(案)について ・こども計画(案)について(資料2、資料6)説明。(子ども支援課 水沼副主幹) 【質疑・主な意見】(⇒は事務局の説明) ・資料6のP.56の追加になった乳児等通園支援事業について、令和8年度からの提供は具体的にどこで、どのような体制で運営していくか決まっているだろうか。(委員) ⇒所管課からは、具体的なことはまだ決まっていないと聞いています。ただし、記載のとおり、令和8年度				

から提供する予定ということは聞いています。(事務局)

(2) 基本理念の再検討

- ・基本理念 修正案(資料5)を説明。(事務局)

【質疑・主な意見】

- ・第2回審議会に提案された案から修正が入ってより良くなった。修正案④も修正案⑤もどちらも良いが、個人的には修正案⑤が良いと思う。子どもと若者が自分の言葉と意思でさまざまなかかわりを築いていくという具体的な表現がされていて、今後どうなっていってほしいのかという姿がよく見える。(委員)
- ・修正案⑤の中の末尾「応援しよう！」という言葉には、市民全体で応援しようという意味が組み込まれていて良いと思う。一方、解説は、いろいろな言葉がつながって一文が長すぎると思う。権利の文言が多すぎる。もう少し短くしないと子どもには理解されにくいと思う。(委員)
- ・私も修正案⑤の方が良い。「支えていこう！」より「応援しよう！」の方が、みんながそうしようという気になるように思える。解説の文章についてもいろいろなことが含まれていて良いと思うが、やはり長い。パッと見て読みやすい方が最後まで読んでもらえると思う。内容に愛情が含まれていることは伝わってくる。もう少し簡潔にできれば、そういった内容もさらに伝わりやすくなる。(委員)
- ・修正案④も修正案⑤も言わんとしていることは共通している。修正案⑤はより具体的だが、文章の構成という点から言うと修正案④のように「市民一人ひとりが」という主語が入っている方が落ち着く。修正案⑤は主語がないものの、応援するのは私たち市民であるということはある。ここには明確に主語を入れても良いのではないかと思う。また、解説については文章が長すぎる。まず、いろいろな権利を並列で書いて、それから次の段に入る書き方もあるのではないか。内容はとても良いので、書き方に工夫が必要だと思う。基本理念の修正案は、どちらかというとなら修正案⑤の方が良い。(委員)
- ・修正案⑤の方がスッと入ってくる印象がある。さまざまなかかわりを市民がサポートする、応援するという姿勢が感じられる。解説の中に、児童の権利に関する条約の4つの権利がちゃんと入っている点も良いと思う。この権利については、箇条書きの形式にしても良いのではないか。また、子どもが読むには少し長いので、もう少し集約しても差し支えないと思う。いずれにしても、整理されてわかりやすくなった。(委員)
- ・修正案④は大人が主役、修正案⑤は子ども・若者が主役という印象があるので、修正案⑤の方が良いと思う。また、解説には、子どもでも読みやすいように漢字にルビを振ってほしい。(委員)
- ・テレビで、キャンピングカーに乗って世界を回っている親子に密着している番組を見た。現代の子どもはインターネットで大体のことを見て感じるができる。しかし、キャンピングカーの親子のように、そこに立った時の物の大きさ、空気感、その場の人々の表情、匂いなどを直接享受できることは素晴らしい体験だと思う。この言葉に一番込めたいのは、畑に行ってサツマイモを掘ってみた感触、鳥の鳴き声を聞いたり、野菜の種を植えたりするような実体験が伴った言葉を獲得できる人になってほしい。現在はIT社会なので、大人顔負けのIT知識を持っている子どももたくさんいるが、実体験が大切だという背景も含めた解説、基本理念であってほしい。前回の審議会で出された意見のように、せめて義務教育期間中は実際に体験することを大事にする蓮田市であってほしい。(委員)
- ・今の意見に賛成である。さまざまなかかわりを築いていくというのは、誰とどうかわるのかということを作った者としては持っていたいという思いも含めて、修正案⑤を推したい。(委員)
- ・あなたたちには4つの権利があって、それは皆さんが守られる権利なのだと、箇条書きでわかりやすく言っても良いと思う。修正案④は市民一人ひとりが「私たちが支えます」という感じだが、修正案⑤はこど

もが主体となっていると感じる。(委員)

- ・解説の「楽しく遊び、興味をもって学び、疲れたら休み」という表現は、こどもがわかりやすい言葉を選んでいると感じる。(委員)
- ・あまり長くなってもよくないので、適度な長さにするにはどうしたら良いだろうか。(委員)
- ・「さまざまなかかわりを築いていくことを市民一人ひとりが応援しよう！」ではいかがか。(委員)
- ・「築いていく」はいらなと思う。「かかわりを築いていく」という言い回しは難しい。(委員)
- ・もしくは「市民全体で」とか。(委員)
- ・「さまざまなかかわり方を市民一人ひとりが応援しよう」とか。(委員)
- ・「かかわり方」となると固苦しいイメージになってしまうが、「かかわり」という方がスッと入ってくる。(委員)
- ・「さまざまなかかわりを市民一人ひとりが応援しよう」もしくは「…市民全体で応援しよう」ではどうだろうか。(委員)
- ・「さまざまなかかわりを持ち、一人ひとりが応援しよう！」ではいかがか。(委員)
- ・「かかわりをもつことを」でも良いのではないだろうか。(委員)
- ・「かかわりをもつことを…」だと「を」が2回出てきて重なってしまう。(委員)
- ・では、「かかわりをもてるように…」としたらどうだろうか。「を」の重なりがなくなる。(委員)
- ・「かかわり方」よりもこどもが理解しやすい表現だと思う。(委員)
- ・そのような言葉であれば、「応援しよう」にもつながりやすくなる。(委員)
- ・特に、これからはこどもの意見表明を応援することが大事になるので、そのような意味も踏まえているということが見えるようになると思われる。(委員)
- ・「市民一人ひとりが応援しよう」とは、すなわち大人が応援するということであろうか。(委員)
- ・もしかしたら、若者も、こどもを支えたいと思うかもしれない。(委員)
- ・当事者の人たちが関わる部分も当然あるので、市民が全体で…と、とらえた方が良いだろう。大人が応援することももちろん良いが、そちらの方がより広くとらえることができると思う。(委員)
- ・「市民」とした方が理解を得やすい。(委員)
- ・「市民みんなで」とか、「市民全体で」という言葉も良いと思う。(委員)
- ・「市民みんなで応援しよう」もしくは「市民全体で応援しよう」。(委員)
- ・あまり飾りすぎても重くなってしまう。(委員)
- ・自分事としてとらえるには「一人ひとり」とした方が良いだろう。「みんなが」にしてしまうと誰かがやってくれるだろうという気持ちになりがちである。(委員)
- ・確かに、「みんなが」とすると自分事にならない。(委員)
- ・「、」なしで改行して、「応援しよう」につなげたらいかがか。(委員)
- ・確かに、改行するなら「、」はなくてもいい。(委員)
- ・こどもに対して、いろいろな実体験を踏まえて「人」として育つ、「人」を育てることが一番であることを伝えられたら良いと思う。ただし、こども自身に「そういう子になってほしいのしょう」という気持ちを抱かせないようにしたい。
- ・縦書きであれば「、」はそんなに入らない。(委員)
- ・また、改行するならば「、」はいらなということには賛成する。解説の中に「いじめや差別などから守られる権利がある」という文言がある。保育士の講演で講師が語っていたが、自然の広いところに出ると、自ずといじめや差別はなくなるが、狭い空間にいるとどうしてもいじめや差別が発生してしまうようであ

る。狭いところにはないで広い外に出ようという感覚が伝わる社会であってほしい。(委員)

- ・「意思で」で改行しなくて良いのか。(委員)
- ・全部で4行にした方がいい。(委員)
- ・「言葉」だけでなく、「意思」も入ったうえで改行した方がいい。(委員)
- ・修正案⑤の文言について、「自分の言葉と意思で」とあるが、まず先に思いがあって言葉になると思うので、「自分の意思と言葉で」という順番にした方がいいと思う。(委員)
- ・基本理念の文言に合わせて解説の文言も変えた方がいい。たとえば、解説の下から2行目「…さまざまなかかわりを築いていくことを」は「…さまざまなかかわりをもてるように」に変えてほしい。「…蓮田市のみんなで」という表現も「…蓮田市の市民一人ひとりで」とする。(委員)
- ・「さまざま」という言葉はいろいろなことを含むという意味で、人だけではないということ。(委員)
- ・「多様な」という意味を含む。(委員)
- ・解説の下から3行目「…こどもや若者が自分の意見や考えを…」の表現を「意見」と「考え」の順番を逆にしてほしい。(委員)
- ・基本理念の言葉を入れ替えたので、解説の文言もそれに合わせて「…こどもや若者が自分の考えや意見を…」とする。また、基本理念文中に「、」はいらぬ。(委員)
- ・今回はこども主体の計画なので、明確に前回の計画と違う点を表すことができると考える。(委員)

(3) その他

- ・なし

4 その他

委員報酬と会議録に関する事務連絡及び次回の会議日程（令和7年1月31日（金））について説明。次回審議会において、パブリックコメントを受けて調整した計画書最終案を示し、その後市長への答申を行う旨を説明。(事務局)

5 閉会